

「障がい者スポーツとスポーツ推進に関するアンケート」実施報告

地域連携部スポーツ推進課及び子ども・福祉部障がい福祉課が実施しました「スポーツ推進と障がい者スポーツに関するアンケート」について、812名の方からご回答をいただきました。

アンケート結果をとりまとめましたので、ご報告します。

(1) アンケート実施期間

令和3年9月1日（水）～令和3年9月20日（火）

(2) アンケート回収状況

対象者数 1,182名

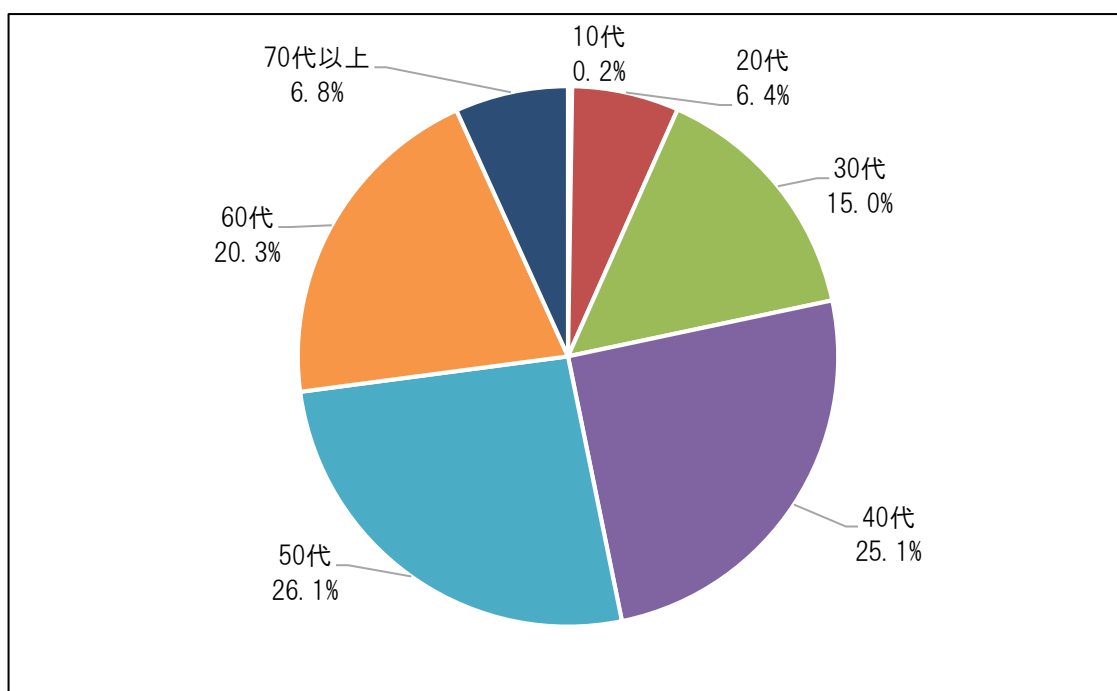
回答者数 812名

回答率 68%

(3) 回答者属性

【年代別】

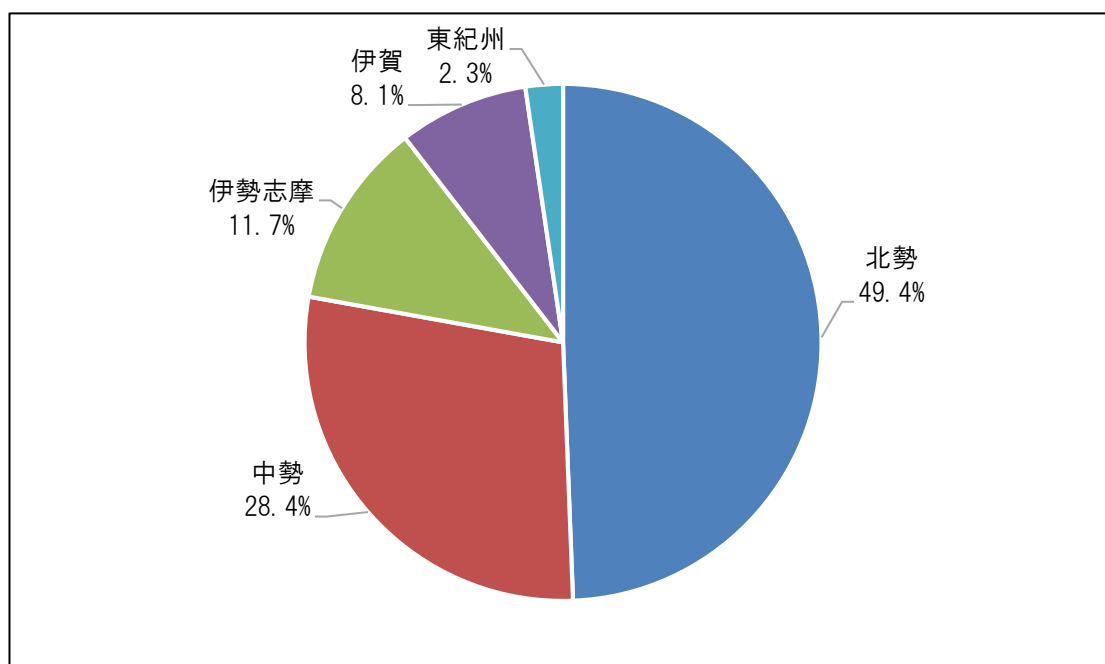
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	2人	52人	122人	204人	212人	165人	55人
割合	0.2%	6.4%	15.0%	25.1%	26.1%	20.3%	6.8%



※割合は少数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

【地域別】

	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
人数	401人	231人	95人	66人	19人
割合	49.4%	28.4%	11.7%	8.1%	2.3%



- ※北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、桑名郡、員弁郡、三重郡
- 中勢：津市、松阪市、多気郡
- 伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡
- 伊賀：名張市、伊賀市
- 東紀州：尾鷲市、熊野市、北牟婁郡、南牟婁郡

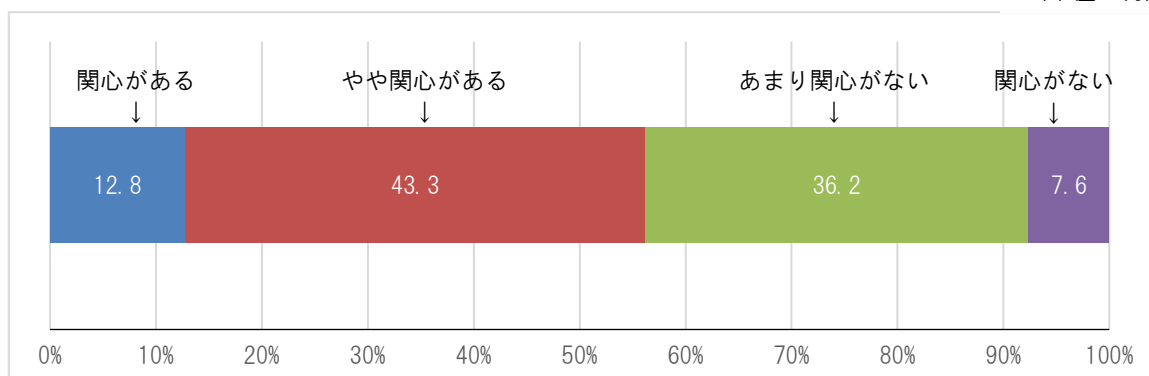
※割合は少数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

(4) アンケート集計結果

Q1 障がい者スポーツへの関心度について

障がい者スポーツとは、障がいがあってもスポーツができるように障がいに応じて競技規則や実施方法を変更したり、用具等を用いて障がいを補ったりする工夫等がされたスポーツのことですが、あなたは障がい者スポーツに関心がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(単位：%)



関心がある (計) 56.1%

関心がない (計) 43.8%

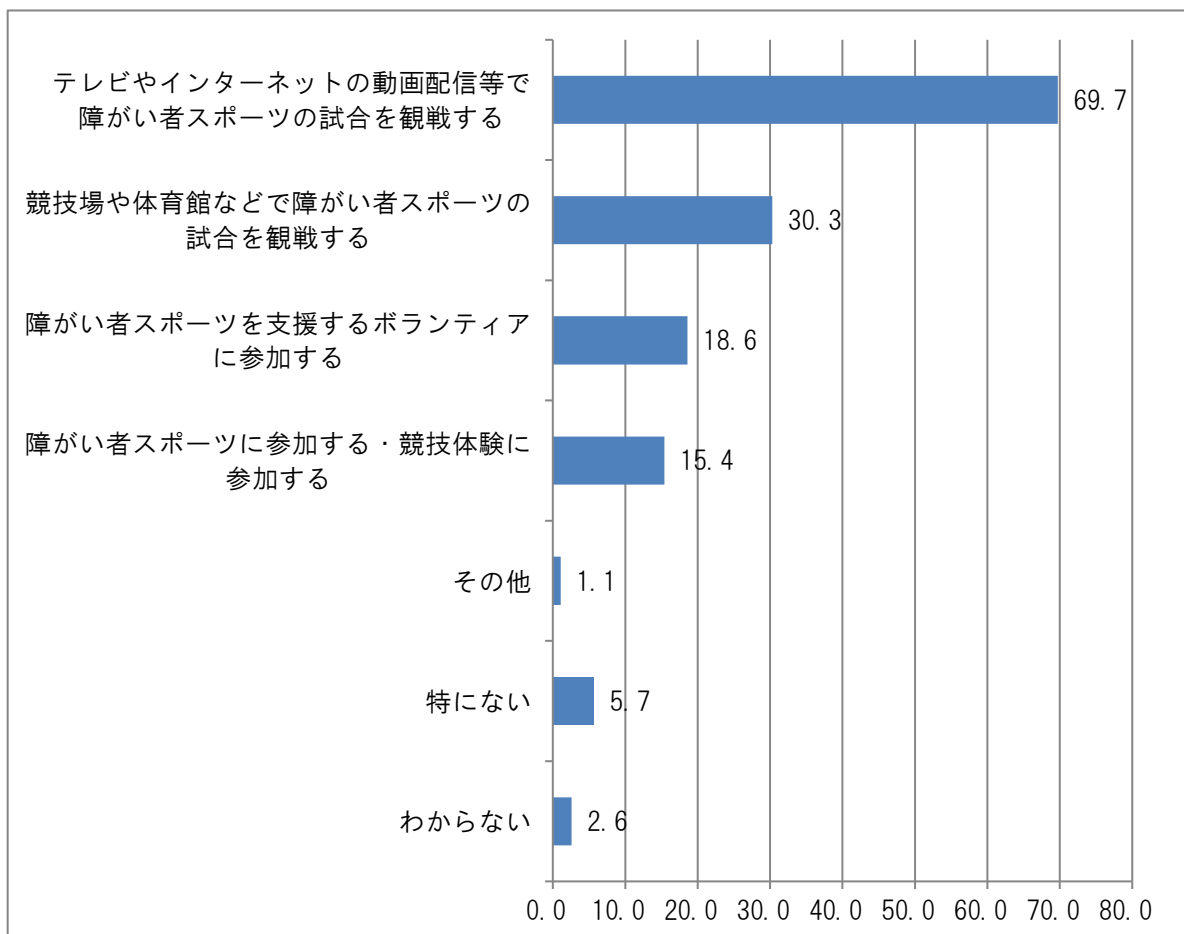
障がい者スポーツへの関心度についてお聞きしたところ、関心がある (計) (「関心がある」と「やや関心がある」の合計) が 56.1%、関心がない (計) (「あまり関心がない」と「関心がない」の合計) が 43.8%となりました。

Q2 障がい者スポーツに関して経験してみたいことについて

Q1で「関心がある」「やや関心がある」と答えた方にお聞きします。

あなたは、これからどのようなことを経験してみたいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(単位：%)



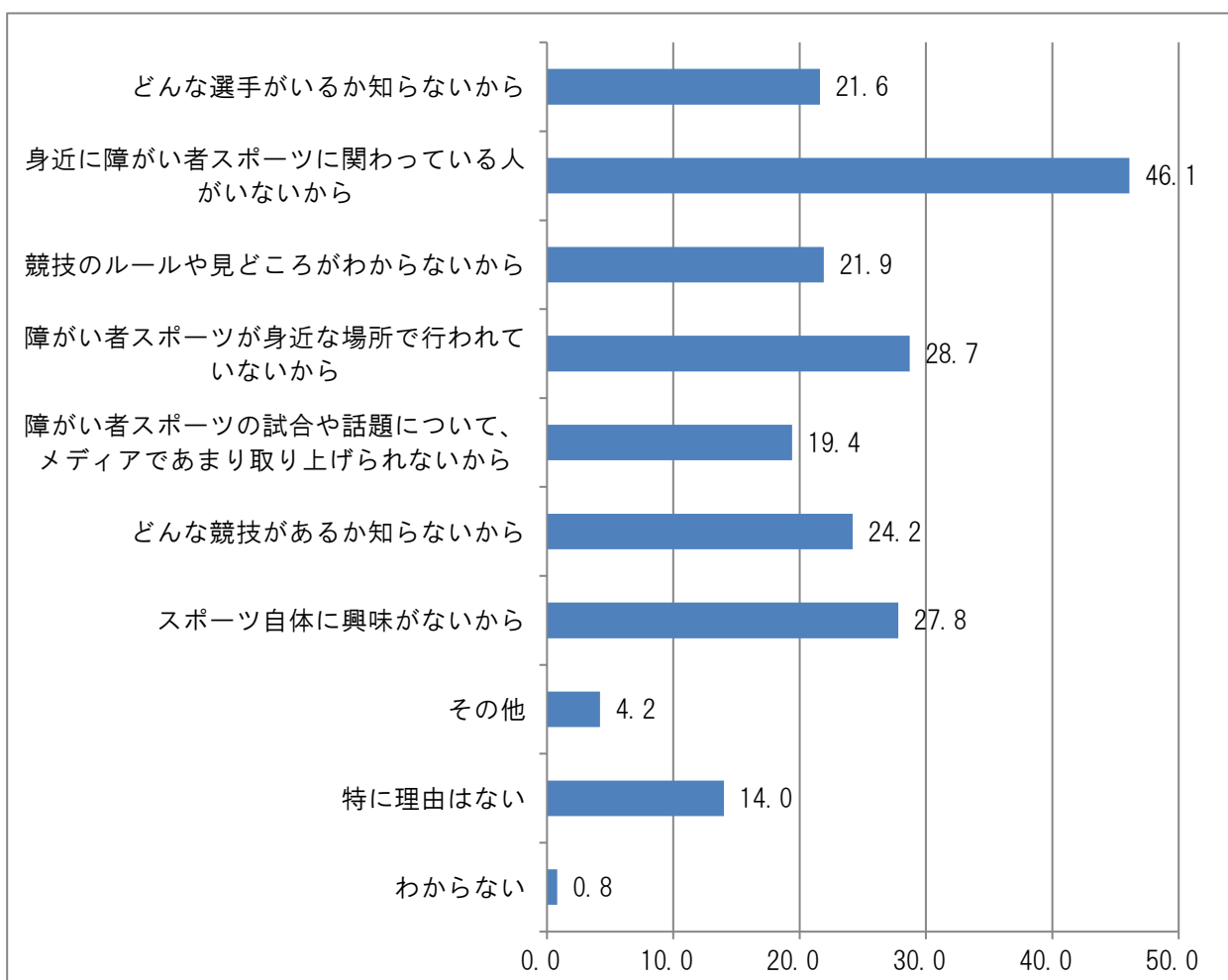
Q1で「関心がある」「やや関心がある」と回答した方を対象に、どのようなことを経験してみたいかをお聞きしたところ、「テレビ等で障がい者スポーツの試合を観戦する」(69.7%)が最も多く、次いで「競技場等で障がい者スポーツの試合を観戦する」(30.3%)、「ボランティアに参加する」(18.6%)、「障がい者スポーツ・競技体験に参加する」(15.4%)の順となりました。

Q3 障がい者スポーツに関心がない理由について

Q1で「あまり関心がない」「関心がない」と答えた方にお聞きします。

あなたが、障がい者スポーツに関心がない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(単位：%)



Q1で「あまり関心がない」「関心がない」と回答した方を対象に、障がい者スポーツに関心がない理由をお聞きしたところ、「身近に障がい者スポーツに関わっている人がいないから」(46.1%)が最も多く、次いで「障がい者スポーツが身近な場所で行われていないから」(28.7%)、「スポーツ自体に興味がないから」(27.8%)、「どんな競技があるか知らないから」(24.2%)、「競技のルールや見どころがわからないから」(21.9%)、「どんな選手がいるか知らないから」(21.6%)の順となりました。

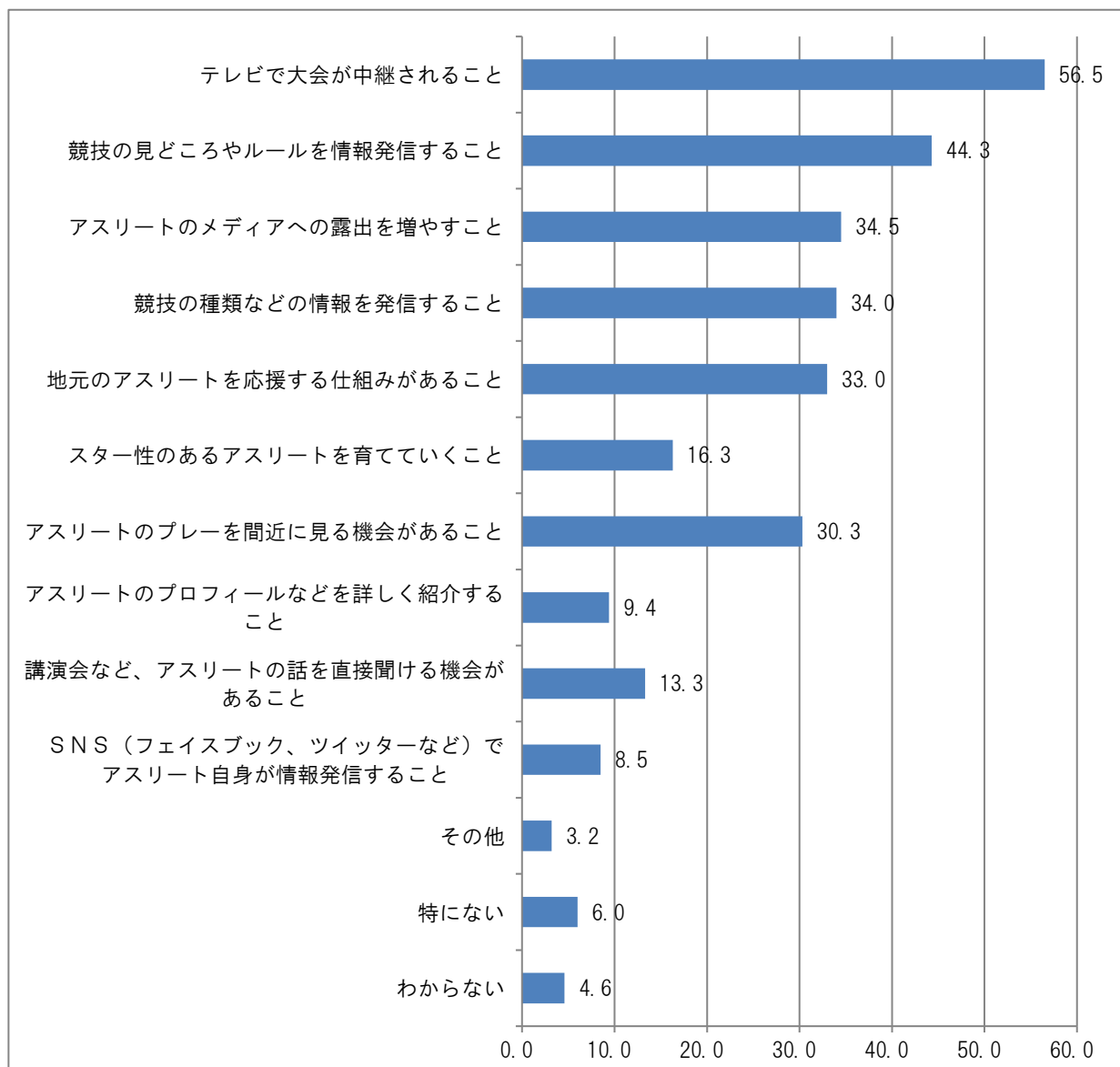
なお、「その他」として次の理由がありました。

- ・一人ひとり障がいの程度が違うため、同じ条件で競技をすることが難しいから。
- ・「障がい者スポーツ」という分類の仕方に違和感があるから。

Q4 障がい者スポーツへの関心を高める取組について

あなたは、どのような取組があれば障がい者スポーツへの関心が高まると思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(単位：%)



障がい者スポーツへの関心を高める取組についてお聞きしたところ「テレビで大会が中継されること」(56.5%)が最も多く、次いで「競技の見どころやルールを情報発信すること」(44.3%)、「アスリートのメディアへの露出を増やすこと」(34.5%)、「競技の種類などの情報を発信すること」(34.0%)、「地元のアスリートを応援する仕組みがあること」(33.0%)、「アスリートのプレーを間近に見る機会があること」(30.3%)の順となりました。

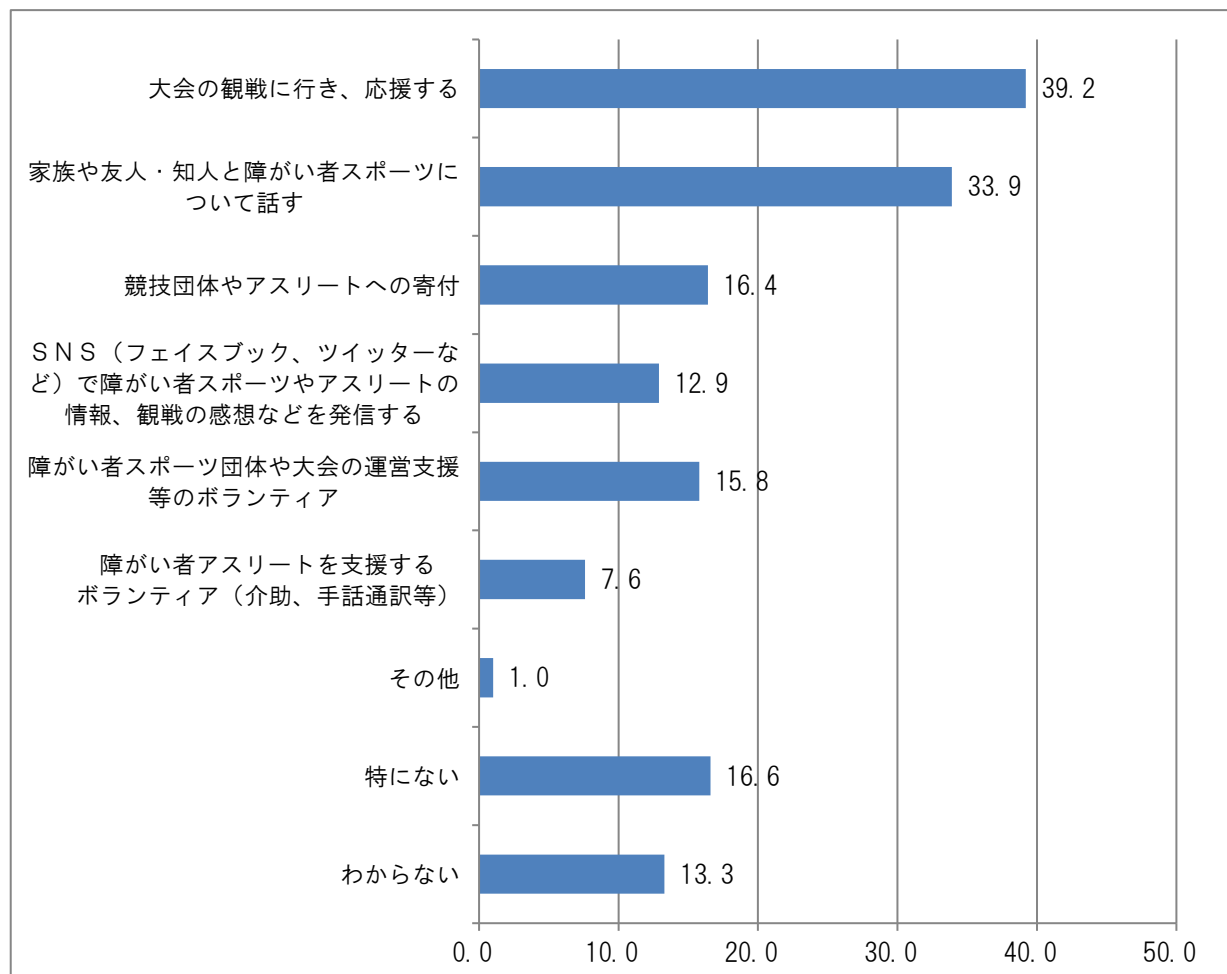
なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

- ・高齢者など、誰もが障がい者スポーツに参加できる機会づくり。
- ・小中学校での、選手との交流や競技の体験会の開催。

Q5 障がい者スポーツ団体や障がい者アスリートへの支援について

あなたが、障がい者スポーツ団体や障がい者アスリートへの支援としてできることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(単位：%)



障がい者スポーツ団体や障がい者アスリートへの支援についてお聞きしたところ「大会の観戦に行き、応援する」（39.2%）が最も多く、次いで「家族や友人・知人と障がい者スポーツについて話す」（33.9%）、「競技団体やアスリートへの寄付」（16.4%）、「障がい者スポーツ団体や大会の運営支援等のボランティア」（15.8%）、「SNSで障がい者スポーツやアスリートの情報、観戦の感想などを発信する」（12.9%）の順となりました。

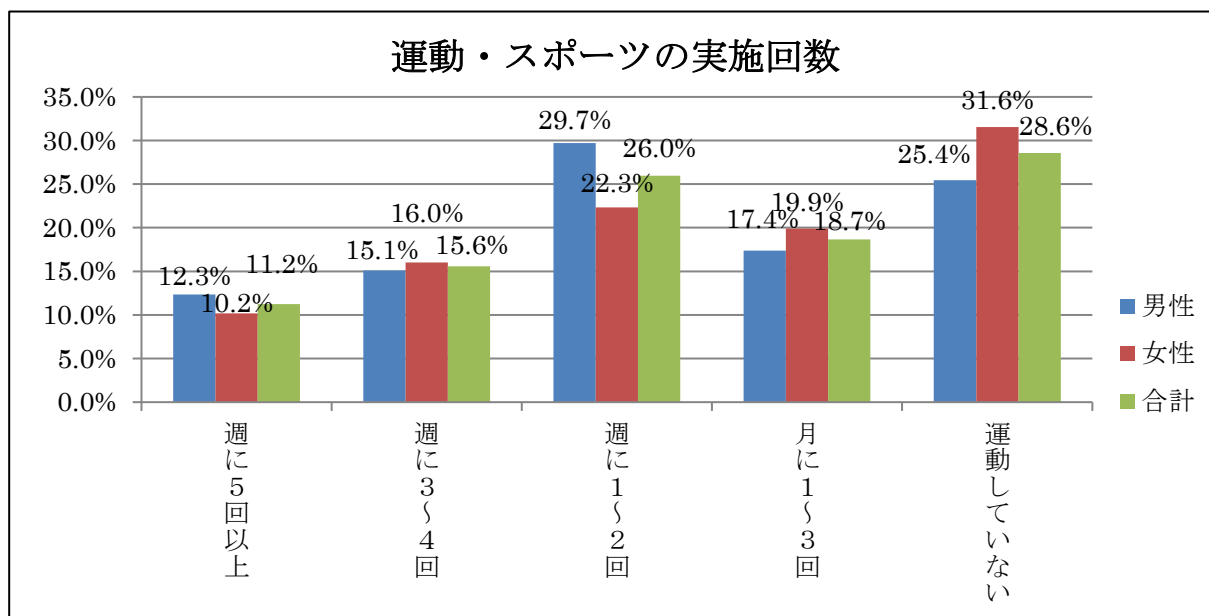
また、「特になし」（16.6%）や「わからない」（13.3%）という回答も多くありました。

(運動・スポーツの実施回数について)

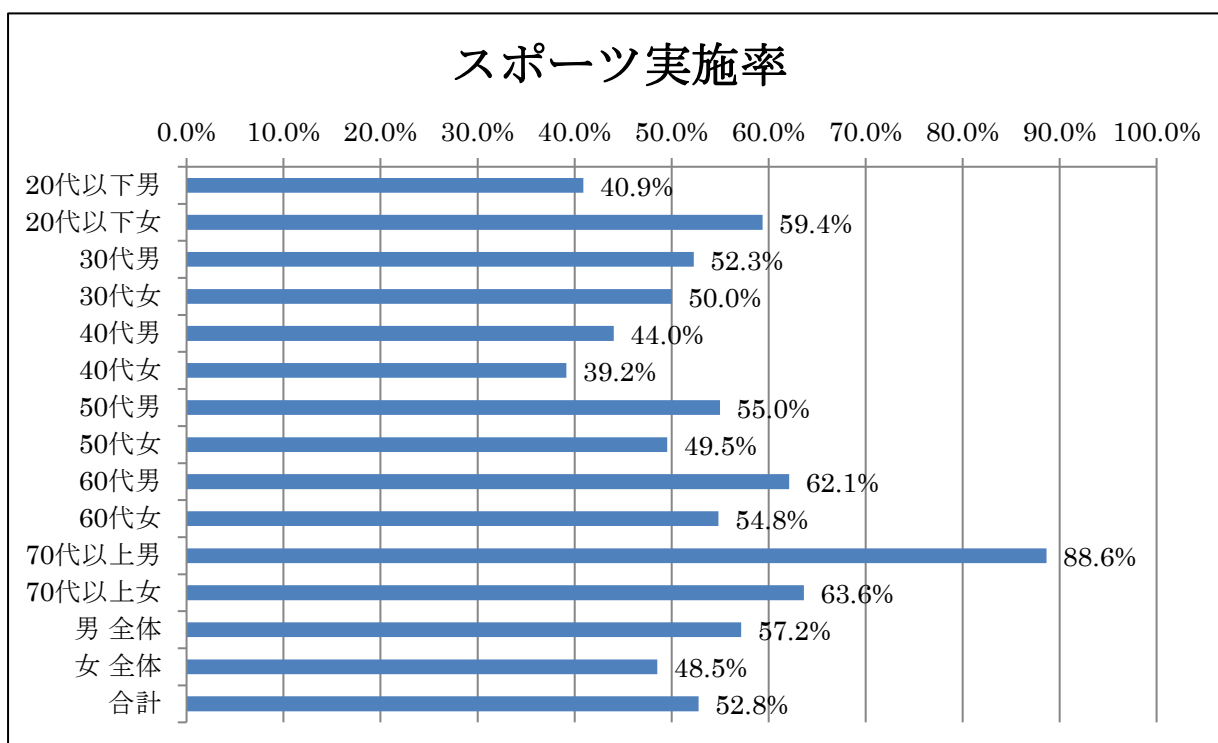
Q6 あなたは、この1年間でどの程度運動やスポーツを実施しましたか。あてはまるものを1つ選んでください。「運動していない」とお答えいただいた方は、Q9へお進みください。

※運動やスポーツの例：少し長めの距離の徒歩や自転車による通勤・買い物、ウォーキング（散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩などを含む）、階段昇降、ランニング、体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操等）、縄跳び、ダンス、ゴルフ、キャンプ、釣りなどの様々な運動やスポーツ

全体的に、男性の方が女性よりも運動・スポーツの実施回数が多く、運動している人については男女ともに、週に1～2回の実施割合が最も高くなっています。



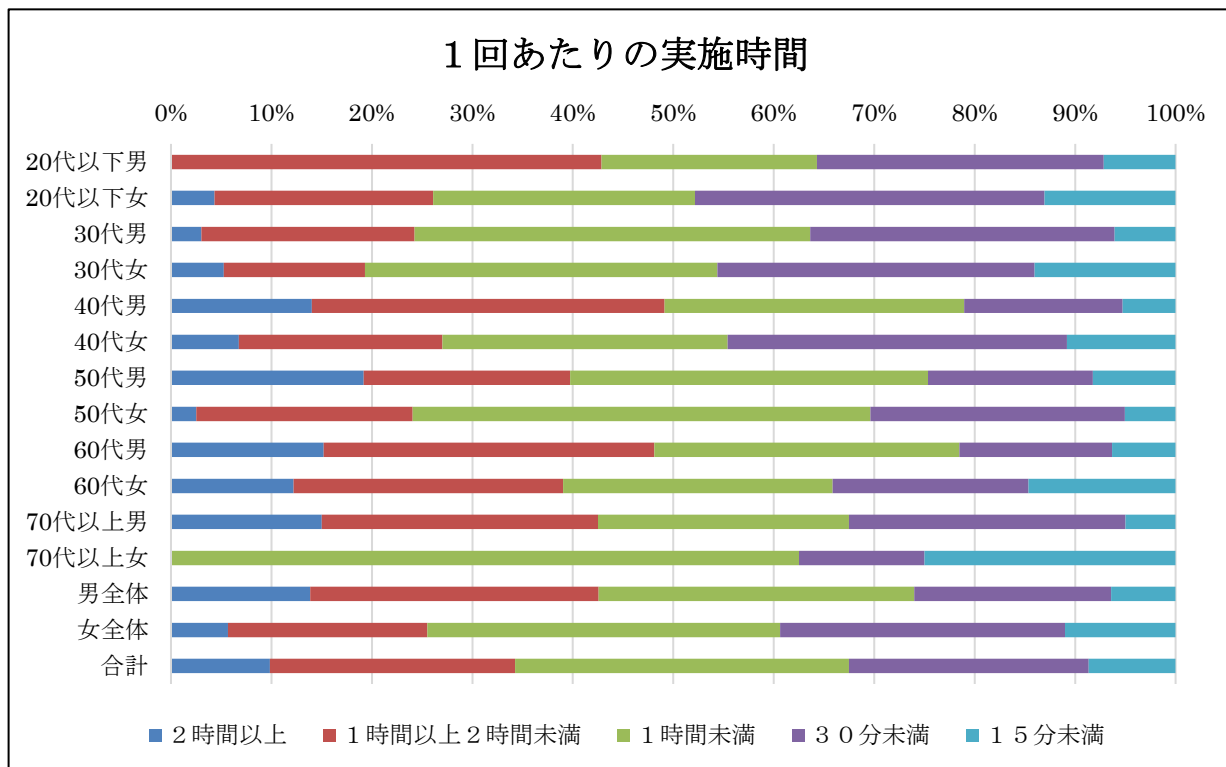
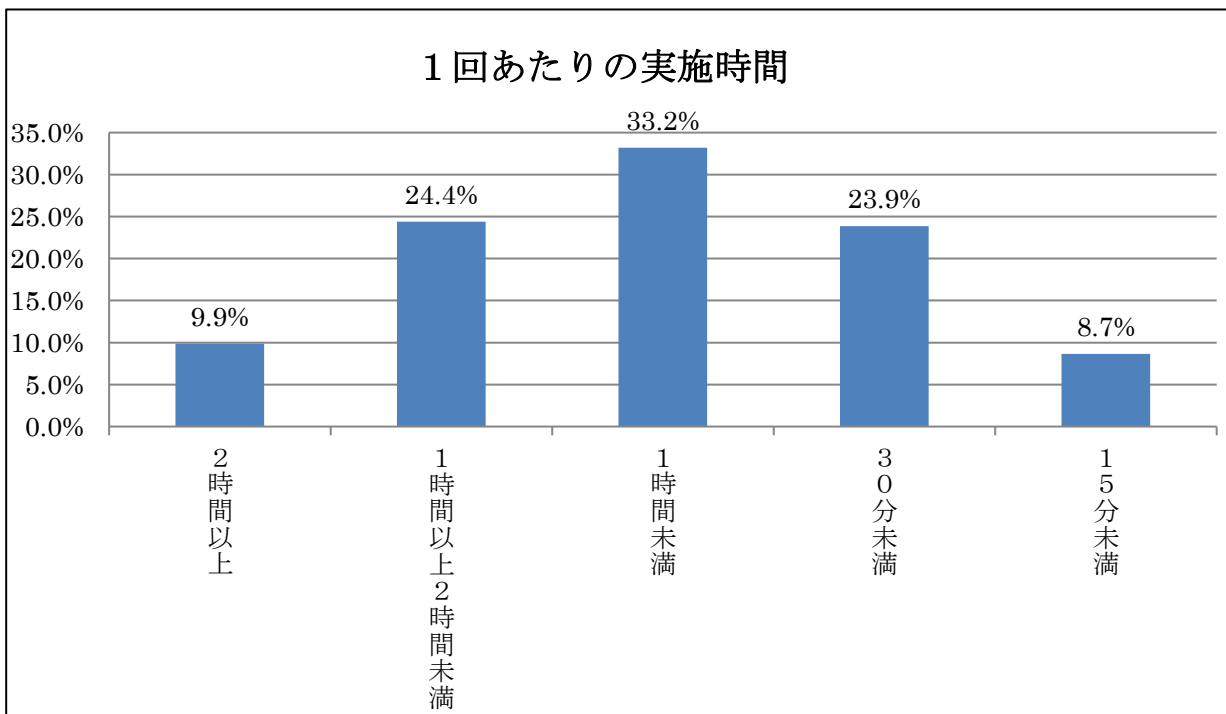
週1回以上の運動・スポーツ実施率は52.8%でした。傾向としては、60代以上の年代で実施率が高く、また、男性の方が女性よりも実施率が高くなっています。



(運動・スポーツの実施時間について)

Q7 Q6で「週に5回以上」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～3回」とお答えいただいた方にお聞きします。1回（1日に複数回に分けて実施する場合は、1日の合計時間）あたりの運動またはスポーツの実施時間について、あてはまるものを1つ選んでください。

月に1回以上運動（「週に5回以上」～「月に1～3回実施」）していると回答した人では、1回あたりの実施時間が「1時間未満」と回答した人が最も多くなっています。



(運動・スポーツの内容について)

Q8 あなたが実施している運動やスポーツについて、あてはまるものをすべて選んでください。

実施している種目については、多い順で、「ウォーキング（散歩、ハイキングなどを含む）」が64.1%（372人）、「日常生活における運動（積極的に歩くこと・階段利用・自転車利用など）」が35.0%（203人）、「体操（ラジオ体操・美容体操等）」が20.2%（117人）となっています。

種目名	男性	女性	合計 (性別未回答者含む)
ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩きなどを含む)	186	185	372
日常生活における運動	96	107	203
トレーニング(室内運動器具を使ってする運動等)	62	45	108
体操(ラジオ体操・美容体操等)	50	67	117
ランニング(ジョギング)	33	18	51
エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス	8	30	38
ゴルフ	52	7	59
自転車・サイクリング・一輪車	28	15	43
レクリエーションスポーツ	3	3	6
水泳(アクアエクササイズ含む)	14	14	28
ラケットスポーツ	14	19	33
登山・クライミング・ハイキング	31	13	44
キャンプ・釣り	28	8	36
ボート・カヌー等	3	1	4
キャッチボール	4	5	9
ウィンタースポーツ	9	3	12
ダンス(フォークダンス・社交ダンス等)	1	10	11
屋外球技競技	12	2	14
屋内球技競技	4	5	9
器械体操・新体操	0	0	0
縄跳び	2	3	5
マリンスポーツ	3	0	3
格闘技	3	6	9
武道	5	5	10
アーチェリー・射撃	0	1	1
グライダー・スカイダイビング	0	0	0
乗馬	1	1	2
その他	9	5	15

備考 1:「その他」は家庭用ゲーム機ソフトでのフィットネスや庭の草取りなど。

2:種目名は代表種目での表記としているため、設問の種目名とは表記が異なります。

年代別にみると、全ての年代で最も多い取組種目は「ウォーキング」であり、次いで「日常生活における運動」となっています。

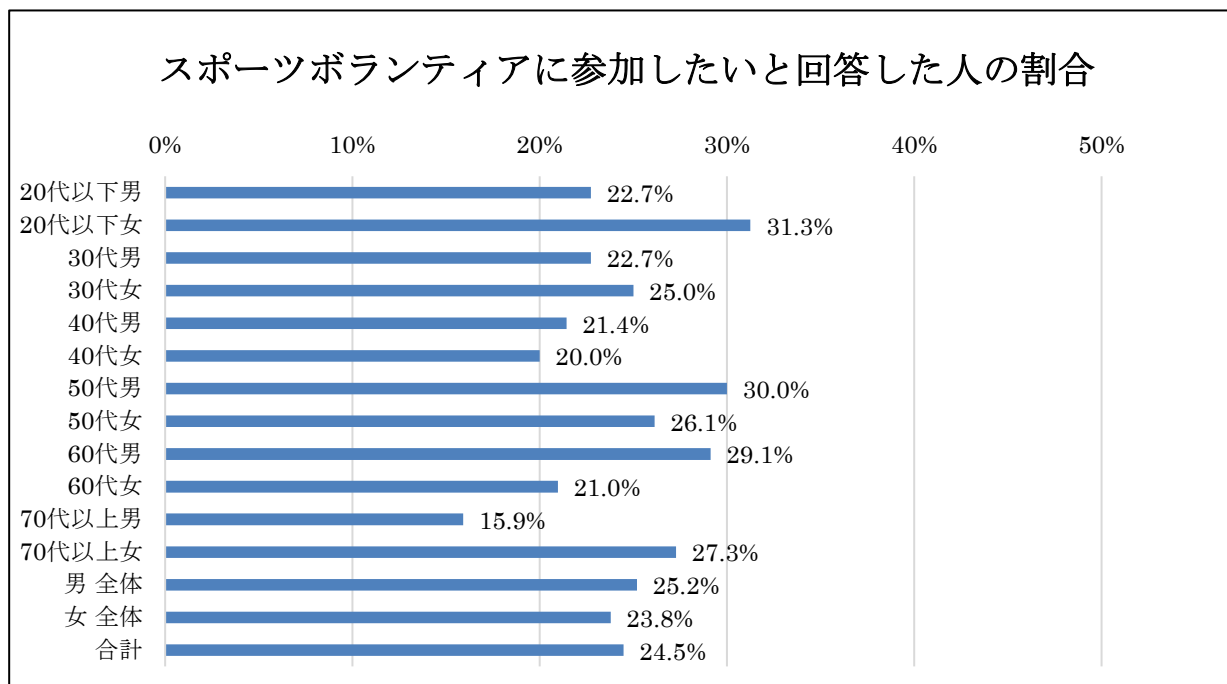
年代別の取組種目(上位5種目)

	1位	2位	3位	4位	5位
20代 以下	ウォーキング (散歩・ぶらぶら 歩き・一駅歩き などを含む)	日常生活にお ける運動(積極 的に歩くこと・階 段利用・自転車 利用など)	トレーニング(筋 カトレニン グ、室内運動器 具を使ってする 運動など)	体操	ランニング(ジョ ギング)、エアロ ビ・ヨガ、自転 車
30代	ウォーキング (散歩・ぶらぶら 歩き・一駅歩き などを含む)	日常生活にお ける運動(積極 的に歩くこと・階 段利用・自転車 利用など)	体操	トレーニング(筋 カトレニン グ、室内運動器 具を使ってする 運動など)	ランニング(ジョ ギング)、自転 車・サイクリン グ、ラケットスポ ーツ
40代	ウォーキング (散歩・ぶらぶら 歩き・一駅歩き などを含む)	日常生活にお ける運動(積極 的に歩くこと・階 段利用・自転車 利用など)	トレーニング(筋 カトレニン グ、室内運動器 具を使ってする 運動など)、体 操	ランニング(ジョ ギング)	登山、キャン プ・釣り
50代	ウォーキング (散歩・ぶらぶら 歩き・一駅歩き などを含む)	日常生活にお ける運動(積極 的に歩くこと・階 段利用・自転車 利用など)	トレーニング(筋 カトレニン グ、室内運動器 具を使ってする 運動など)	体操	ランニング(ジョ ギング)
60代	ウォーキング (散歩・ぶらぶら 歩き・一駅歩き などを含む)	日常生活にお ける運動(積極 的に歩くこと・階 段利用・自転車 利用など)	ゴルフ(グラウン ドゴルフ、ゲート ボールなど)	体操	トレーニング (筋カトレニン グ、室内運動 器具を使ってす る運動など)
70代 以上	ウォーキング (散歩・ぶらぶら 歩き・一駅歩き などを含む)	日常生活にお ける運動(積極 的に歩くこと・階 段利用・自転車 利用など)	ゴルフ(グラウン ドゴルフ、ゲート ボールなど)	体操	トレーニング (筋カトレニン グ、室内運動 器具を使ってす る運動など)

(スポーツボランティアへの参加について)

Q9 あなたは、三重県内で開催されるスポーツイベント（マラソン大会等）でのボランティア活動に参加したいと思いますか。

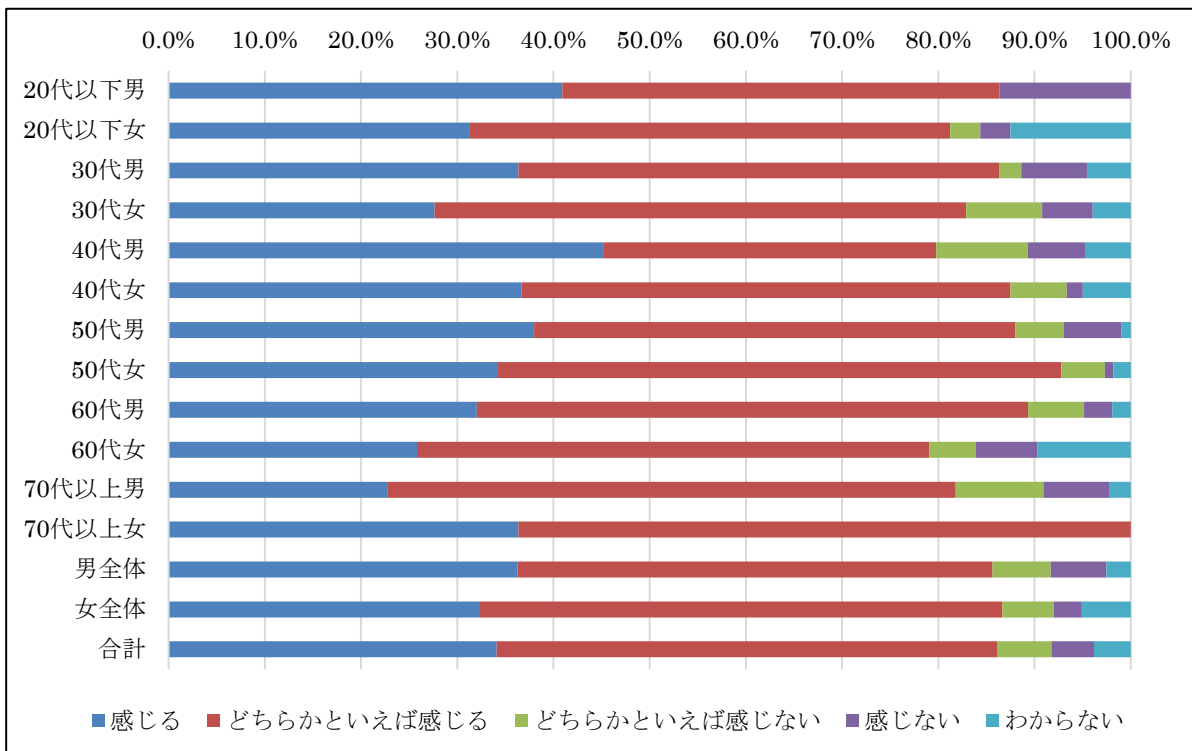
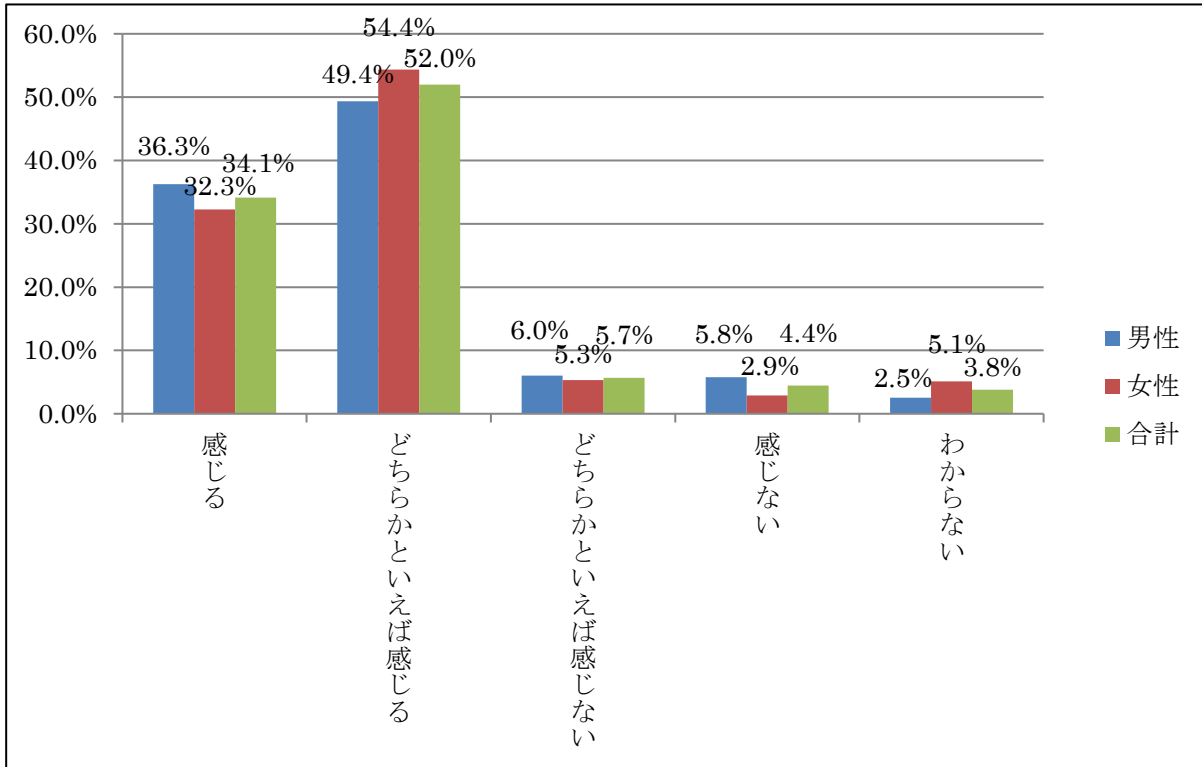
「スポーツボランティアに参加したい」と回答した人の割合は、50代・60代の男性および20代以下の女性で高いですが、合計としては24.5%の結果になりました。



(スポーツについて)

Q10 あなたは、スポーツを通じて夢や感動が育まれていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選んでください。

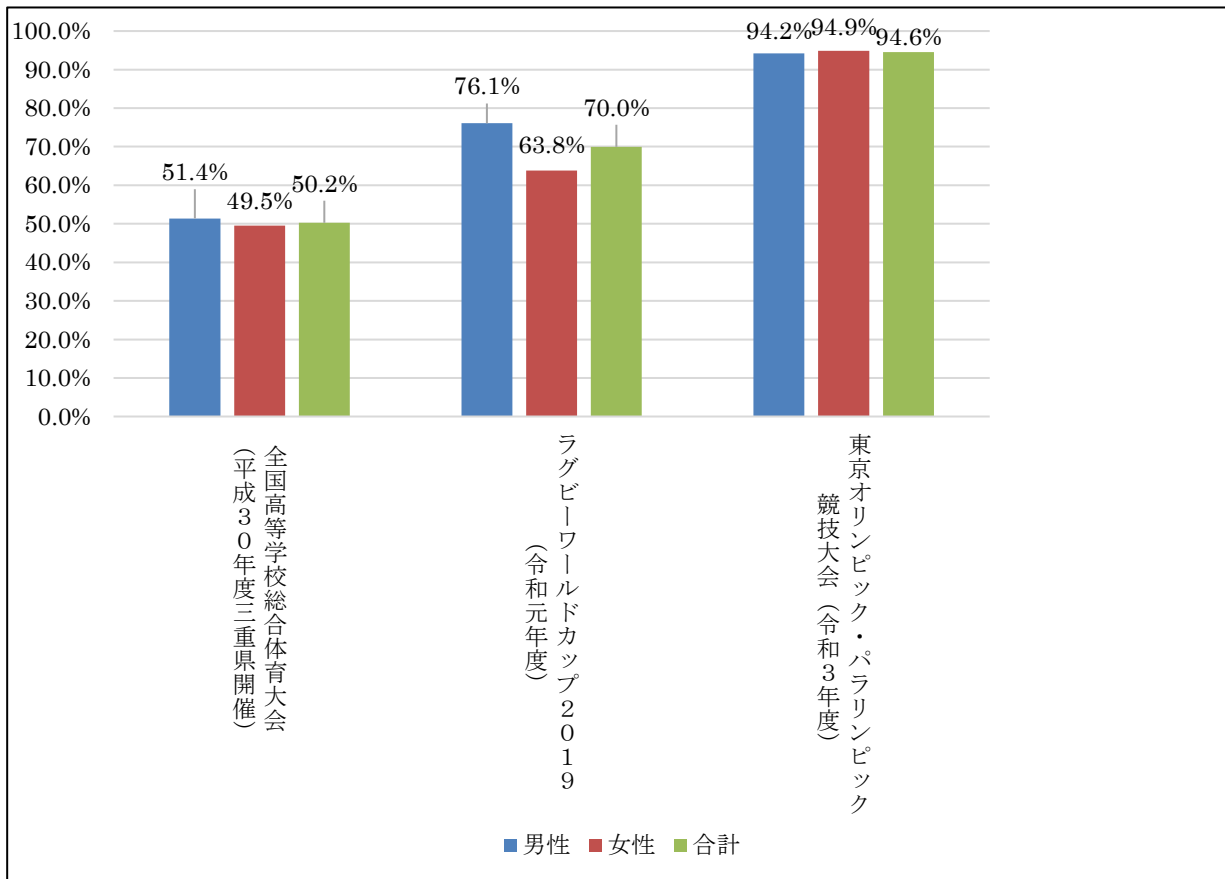
「感じる」または「どちらかといえば感じる」と回答した人の割合は男女とも80%を超えています。



(スポーツ大会について)

Q11 あなたは、つぎのスポーツ大会が行われることをご存知ですか。ご存じのものをすべて選んでください。

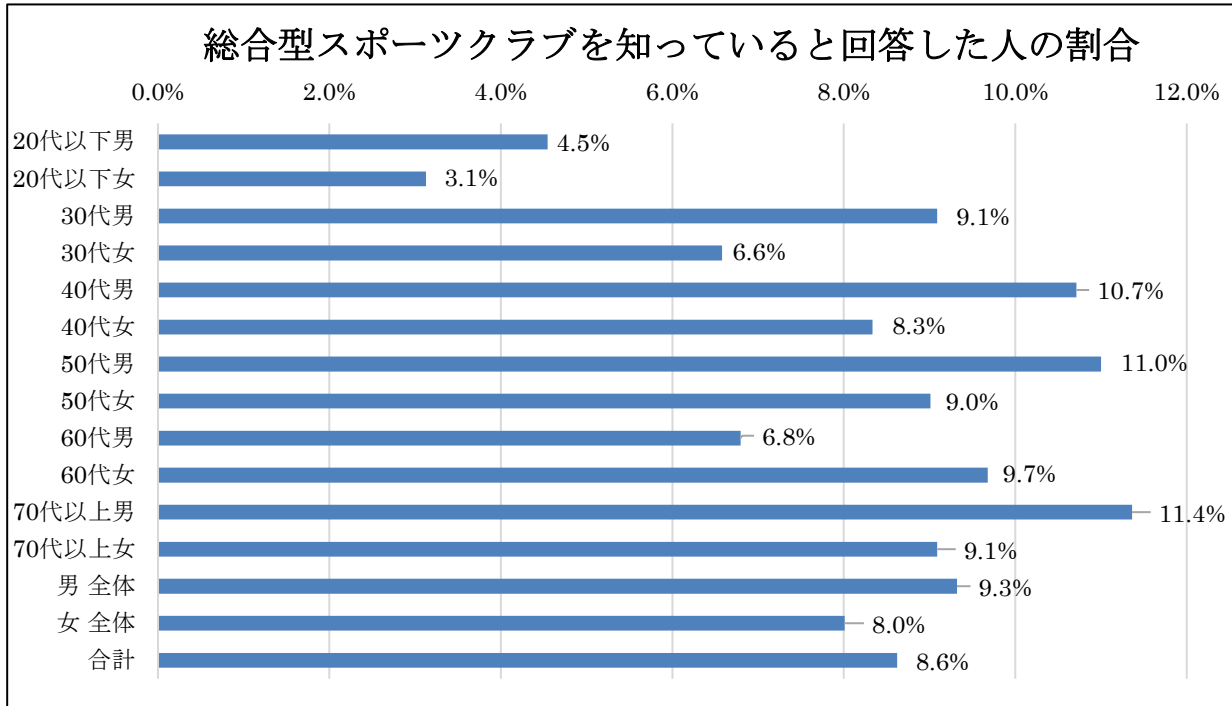
「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」においては、「知っている」と回答した人の割合が全体で90%超、「ラグビーワールドカップ2019」では70%と高い傾向になっています。



(総合型地域スポーツクラブについて 1)

Q12 あなたは、総合型地域スポーツクラブをご存じですか。

総合型地域スポーツクラブを知っていると回答した割合は合計として10%を下回っている結果になりました。



(総合型地域スポーツクラブについて 2)

Q13 Q12で「知っている」を選んだ方にお聞きします。よろしければ、そのスポーツクラブ名を教えてください。(自由記載)

回答が多かったクラブは、「NPO 法人ヴィアティンスポーツクラブ」、「NPO 法人四日市ウェルネスクラブ」、「NPO 法人ビバ・橋北」、「うつべ☆スター」、「NPO 法人元気アップこものスポーツクラブ」、「かわげスポーツクラブ」、「厚生総合型スポーツクラブ」、「ふたみふれ愛クラブ」でした。

(性別について)

Q14 男女の性別によるアンケート結果の分析のため、あなたの性別(自認する性)をお答えください。なお、選択肢がない場合は回答不要です。

【男性 397人(48.9%)】

【女性 412人(50.7%)】

【未回答 3人(0.4%)】

(合計 812人)